

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：前佛 和秀

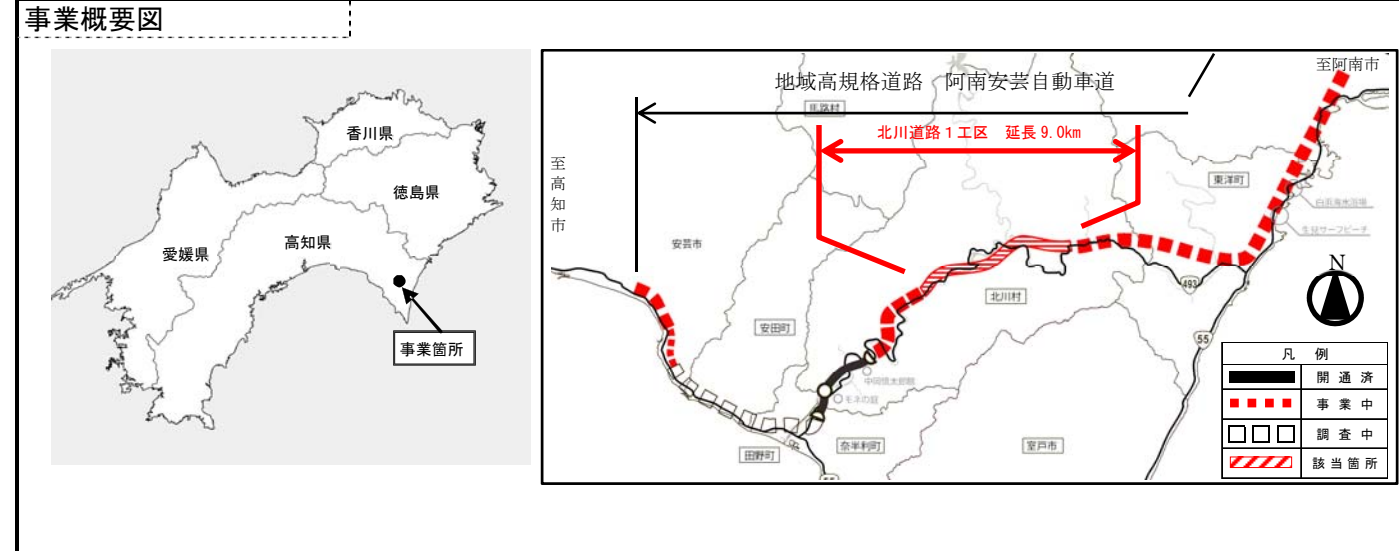
事業の概要

事業名	地域高規格道路 阿南安芸自動車道 一般国道493号 北川道路1工区	事業区分	一般国道	事業主体	高知県
起終点	自：高知県安芸郡北川村安倉 至：高知県安芸郡北川村和田	延長	9.0 km		

**事業概要**  
 一般国道493号は、高知県高知市を起点とし高知県東洋町までを結ぶ全長約104kmの道路であるが、この大半は一般国道55号との重複区間であり、実質的には奈半利町、北川村、東洋町の3町村を連絡する一般国道55号のバイパス経路として機能している。  
 北川道路は阿南安芸自動車道の一部として四国東南部の幹線道路ネットワークを形成し、同地域への広域アクセス性を高めるとともに、南海トラフ地震などに備えて、津波被害が想定される国道55号の代替路として、発災時においても道路交通を維持するなど、同地域の経済発展や地域住民の安全安心の確保に寄与することを目的として計画された道路である。

**事業の目的、必要性**  
 北川道路は、  
 ・南海トラフ地震発生時の緊急輸送路の確保や落石等危険箇所の回避  
 ・農産物の安定した輸送や観光施設への集客効果による地域経済の活性化に資する道路である。

全体事業費	約308億円	計画交通量	約2,600~2,900台/日
-------	--------	-------	-----------------



**関係する地方公共団体等の意見**  
 県等に対し、関係市町村及び整備促進期成同盟会による早期整備を求める要望書が提出されている。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
 学識経験者意見聴取の結果、新規事業化は妥当であると評価。

**事業採択の前提条件**  
 費用便益比：便益が費用を上回っている。  
 関係市町村等から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.4 (0.5)	総費用 3,274億円 (事業費: 2,893億円 維持管理費: 381億円)	総便益 4,697億円 (走行時間短縮便益: 3,970億円 走行費用減少便益: 530億円 交通事故減少便益: 197億円)	基準年 令和2年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.2 (交通量 -10%)	B/C=1.7 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.3 (事業費 +10%)	B/C=1.6 (事業費 -10%)	
		事業期間変動	B/C=1.4 (事業期間 +20%)	B/C=1.5 (事業期間 -20%)	

事業の影 響		評価項目	評価	根拠
自動車や歩行者への影響	渋滞対策		-	・注目すべき影響はない。
	事故対策		-	・注目すべき影響はない。
	歩行空間		-	・注目すべき影響はない。
社会全体への影響	住民生活		○	・二次救急医療機関（高知あき総合病院）等への、緊急車両による搬送時の安全性・定時性の向上が見込まれる。 ・通勤・通学時の走行性・安全性が向上し、若者の地域への定住を促進する。
	地域経済		◎	・豪雨による事前通行規制や災害等の影響を受けない安全な道路整備により、「ゆず」などの特産品の安定した搬送が可能になる。 ・計画道路周辺の観光施設（北川温泉、モネの庭等）への集客が期待される。
	災害		◎	・南海トラフ地震発生時の緊急輸送道路の確保 ・バイパス等による落石等危険箇所の回避 ・異常気象時における事前通行規制の解消
	環境		-	・注目すべき影響はない。
	地域社会		○	・高知県東部の中核都市の機能を担う安芸市と東洋町及び北川村との結び付きが強化される。
事業実施環境			○	・四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟、高知東部自動車道整備促進同盟会、一般国道55号・阿南安芸自動車整備促進期成同盟会、国道493号整備促進期成同盟会より積極的な要望活動がされている。

採択の理由

事業主体である高知県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.4と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、南海トラフ地震発生時の緊急輸送道路の確保、落石危険箇所や事前通行規制区間の回避による通行止めの危険性を解消するなどの効果が期待され、当該事業の整備の必要性・社会全体の効果は高いと判断される。  
 以上により、本事業は令和3年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。